

ぐんぐんぐみだより10月号

朝夕は涼しく過ごしやすいい日が増え、秋の気配を感じるようになりました。日中はまだ気温が高い日もありますので、こまめな水分補給を心掛け、引き続き体調管理には気を付けていきたいと思っています。

さて、運動会を終えホッとする間もなく今月は芋ほり遠足や小学校との交流もあり、まだまだ忙しい日も続くかと思いますが、体調面には気をつけながら1つ1つの行事や活動に取り組んでいけたらと思います。

今月のわらい

- ・友だちと一緒に行事に取り組み、自分の力を十分に発揮し、役割を果たすことで、充実感や達成感を味わいましょう。
- ・秋の自然に触れたり、収穫の喜びを味わったりしながら、季節の変化に興味を持ちましょう。
- ・考えや意見を出し合いながら、遊びや活動を進めていきましょう。



今月の歌

- ♪どんぐりころころ
- ♪森のくまさん
- ♪まつぼっくり



今月の予定

2日(月) 交通安全教室

13日(金) 誕生会

卒園アルバム用写真撮影

16日(月)～20日(金) 個人面談

17日(火) 芋ほり遠足

【予備日：20日(金)】

日時指定なし 避難訓練

日時指定なし 不審者訓練



今月の絵本

『もしものせかい』

作：ヨシタケシンスケ 出版社：赤ちゃん和妈妈社
大切なものを突然失った時、思いがけない別れが訪れた時、心がぽっかりと空いた穴は、どうやって埋めたらいいんだろう。
ヨシタケシンスケの新たな世界が広がる、何度も読みたくなる優しい物語です。



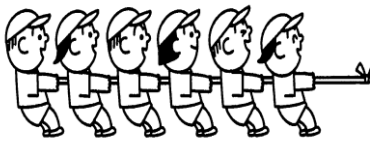
お知らせ



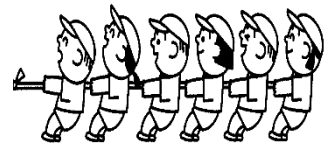
・10月3日(月)は衣替えです。気候に応じて掛け布団・毛布の準備をお願い致します。
また上着の使用については、後日掲示でお知らせいたします。

・10月16日(月)～20日(金)は、個人面談です。ご希望の方は、期日内までに希望表の提出をお願いいたします。

・10月13日(金)に、卒園アルバム用の個人写真と集合写真の撮影を行う予定です。
フォーマルな洋服(又は卒園式に着用される洋服)・靴下・上履きのご準備をお願いいたします。
詳細は保育室内窓の掲示をご確認ください。



運動会を終えて・・・！



先日は運動会へのご観覧、ありがとうございました。沢山の拍手や声援を頂き、子どもたちも練習の成果を発揮することが出来たのではないかと思います。今回は運動会を終えるまでのエピソードをお伝えできればと思います！！

【ナーサリンピック】

運動会の中でナーサリンピックを行うことは今年度最後ということもあり、子どもたちだけでなく、孝治先生や私も毎週の体操教室の練習を大切に行っていました中でも逆上がりの練習は、日中と夕方の自由遊びでも取り組む姿があったり、ご家庭でも練習していたと伺ったりする程、一生懸命練習を重ねてきたので、その成果をご覧いただけたのではないかと思います。縄跳びも最初は腕を回し縄を自分の前へ持ってくるころから始めましたが、何度も何度も練習し、連続跳びや1分間跳びにチャレンジする子どもたちも増えました。

ナーサリンピックはいきいき組からぐんぐん組までの成長が特に大きく見える種目である為、一人ひとりが練習を重ねる毎に成長し、成果を発揮する姿がとても素敵でしたね。

【身体表現】

どの種目よりも練習してきた身体表現は、子どもたちの熱い思いも強く、レベルアップする為にどうしたら良いかを何度も話し合い完成した演目です。練習当初は気持ちもバラバラな姿が見られ、「出来ないかも。」と弱音を吐露したり、うまく出来なかった悔しさから時には涙を流したりと、一筋縄ではいかなかったこともありましたが。しかし徐々に“失敗しても何度だってやり直せる”“最後まで諦めない”と一人ひとりが当日の成功を目指して鼓舞してきました。

子どもたちの成長は担任が考えていたもの以上の力で、今までたくさん練習してきた思いを全て出し切るかのように全員が集中し、同じ思いで表現出来たと思います。この練習を通して感じた思いや気持ちはこれから生活する上での糧となり、子どもたちの自信にも繋がっていたら嬉しいです。

【リレー】

練習時からどちらが早くゴールするのかわからない接戦だったリレーは、当日に向けて各チームで繰り返し作戦会議を行ってきました。紫チームからは「バトンがスムーズに渡せていないから練習したい」と申し出があり、どのようにバトンを渡せば良いか子どもたち同士で考えて練習をしてきました。白チームは“誰かに頼ったり、一人が頑張っているのでは無く、皆で心をつなげる”という目標を定め、走っている友だちを呼んで応援したり、一人ひとりが全力で走ったりしてゴールを目指してきました。リレーは勝敗が決まる種目ということもあり、悔しい思いをする子どもたちや嬉しい気持ちになる子どもたちと思いは様々になりますが、私が子どもたちに伝えてきたことは、練習の過程が大切であるということです。結果もちろん大切ですが、今まで友だちと同じ目標を立てて取り組んできた思いや練習してきた努力は、必ず自分の力になっていることを子どもたち自身が感じ、今後もいろいろなことに挑戦して欲しいなと思っています。

